

## 令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名: 秦野市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社愛鶴	上地区乗合自動車 1 運行系統名:「湯の沢線」 渋沢駅北口～湯の沢終点(4.8km) 2 運行便数 渋沢駅北口発5便、湯の沢終点発11便 ※平日のみ運行	前回の事業評価結果において助言等をいただいた内容は次のとおり。 「①運行ルートの見直しをきっかけに、引き続き利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。」 「②定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい」 上記の助言等を踏まえ、上地区乗合自動車を運営する上地区公共交通協議会において、協議を重ね、令和5年10月から新ルート及び新ダイヤでの運行を開始した。その結果、乗車機会が約2倍になり、利用者の利便性向上に繋がった。また、「利用応援定期券」の販売や「クイズラリー」を実施し、利用促進を図った。	A 計画に位置付けたとおり、令和5年10月から、従来の2路線を統合した、上地区循環路線の運行が開始され、利用者の利便性向上に繋がった。 また、「利用応援定期券」の販売や「クイズラリー」を実施し、利用促進にも努めた。 C 上記のことから、秦野市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づき、利用者の交通手段を確保維持することができたため、事業は適切に実施された。	C 上地区乗合自動車を持続可能なものとするため、上地区公共交通協議会において、「継続要件:2.40人/便以上」、「継続目標:3.72人/便以上」を定めている。 令和6年度(令和5年10月～令和6年9月)の運行実績は2.37人/便(昨年度と同数値)であり、継続要件及び継続目標ともに達成ができなかった。	利用状況改善のため、利用実態把握を目的としたアンケート調査を地域住民向けに実施した。 アンケート結果等を踏まえ、より効率性の高いルートやダイヤ等を検討し、利用状況及び収支の改善に努める。
	上地区乗合自動車 1 運行系統名:「みくるべ・八沢循環線」 渋沢駅北口～渋沢駅北口(15.5km:循環系統) 2 運行便数 4便 ※平日のみ運行				
	上地区乗合自動車 1 運行系統名:「八沢・みくるべ循環線」 渋沢駅北口～渋沢駅北口(15.4km:循環系統) 2 運行便数 5便 ※平日のみ運行				

地方運輸局等における  
二次評価結果  
(関東運輸局)

「利用応援定期券」の販売や「クイズラリー」の実施による利用促進策を行うなどの取組は評価できるが、継続要件及び継続目標の目標は未達成となった。第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。

- ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。
- ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。